

アメリカネナシカズラの特徴と影響

1

種子で増える一年生のつる植物

芽生え直後は地上（地面）から生えますが、宿主となる他の植物に巻き付いて寄生を開始すると、根が消えてなくなります。

2

細くうすい黄色の茎・小さな葉

茎は太さ1mmほどと細く柔らかく、うすい黄色です。宿主に絡みついて目立ちますが、葉は退化して極めて小さいため目立ちません。

3

在来の植物や畑作物に寄生

砂丘などに生育する在来の植物をはじめ、ジャガイモ、ナスなどの畑作物、園芸植物に寄生し、時に他の植物を覆いつくすように集団でまとまって生い茂ります。

⚠ 在来種や作物への影響

- 在来植物に寄生して絡みつки、養分を吸い取ることで、対象の植物を衰退・弱らせてしまいます。
- ジャガイモやナス、園芸作物などの生育阻害を引き起こすなど、生産活動への被害も懸念されています。



🔍 同定・識別の参考情報

- 茎と根の消失：太さ1mm程度の黄色い糸のような茎が、根元がない状態で他の植物に絡みついていたら、本種の可能性があります。
- 花の特徴：7月～9月になると、乳白色をした3ミリほどの小さな花が、同じ場所に複数まとまって咲きます。

アメリカネナシカズラの駆除・処分方法

STEP 1

種子を付ける前に刈取る

黄色い茎が目立ち、まだ種子ができる前の6月～7月頃に駆除を行うのが適期です。本種は一年草のため、宿主植物ごと同時に刈取るか、絡みついている本種のみを細かく刈り取って再生しないようにします。

STEP 2

密閉して可燃ごみ処分

作業後はすぐにビニール袋にしっかりと密封し、漏れないことを確認した上で「可燃ごみ」として処分します。

STEP 3

種子の飛散に注意

すでに結実（種子形成）している場合は、種子で繁殖して翌年さらに増えてしまいます。駆除作業中に種子が周囲へこぼれ落ちて飛ばないように、注意を払いながら作業を行います。

⚠ 除草剤を使用する場合の注意事項

除草剤などの薬剤を使用する場合は、勝手に散布せず、あらかじめ土地の所有者や管理者への確認・承諾を必ず得てください。周囲の有用な植生や作物への残留、周囲の環境への影響を考慮し、薬剤の使用ルールを遵守してください。